

# 中農だより



## いよいよ3学期 2013年スタート!

思い煩うな(前向きに生きよう)  
校長 具志堅 三男  
京セラの稲盛会長の著書「生き方」から、お話ししたい。

彼は従業員百名足らずの町工場時代から「世界一の企業」を目指してガムシャラに働いた。夢と現実の落差に打ちのめされそうになってもあきらめず、他社がやらない儲からない仕事も、お客さんから依頼があれば断らずにやり続けたという。そして、年月がたつて振り返れば、名実ともに世界の頂点に立っていたのである。夢に向かってこつこつと頑張ることは大事なことである。

さて、年末(2学期の終わり)に校長室で三者面談を実施したが、みんな悩んでいることが分かった。でも、私に言わせれば些細な悩みである。思い煩って苦しんでいる人もいる。解決策はすぐそこにあるはずだが・・・

私は三か月入院したが、入院中尿瓶(しびん)のふたが気になって何度も何度も作り直した(自分の不器用さを嘆きながら)。  
そして、退院二日前の朝、起床して尿瓶を見た。何と、そこにはノーベル賞ものの尿瓶のふたがあるではないか。私は、日々患者と接し、豊富な実践と知識に裏打ちされた看護師のスキルの大ささ、偉大さを実感した。  
その時の尿瓶のふた「紙コップ」は今、我が家の家宝として床の間に飾られている。生徒たちからもらった千羽鶴とともに。  
思い煩うなかれ、苦しいときは誰かに助けを求めるとよい。解決策はすぐそこにある。

始業式のあいさつより

発行  
中農森林高等学校  
うるま市田崎1570  
Tel 973-3578  
生徒募集部



次回の中農市は  
二月十五日です。

## 創立記念マラソン大会 一生懸命走りまじました

一月十日に、第三十回創立記念マラソン大会が行われました。開会式では校長と同窓会長より、本校創立に至った経緯や卒業生、在校生たちの活躍についてお話がありました。

上原同窓会長(男子)、石川同窓会副会長(女子)のスタートの号砲で男子は八キロ、女子は五キロの距離を、時々小雨がぱらつく中、自分のペースを維持しながら、体育の授業などで取組んできた持久走の成果を発揮して全員完走しました。また、PTA会長をはじめ代議員の方々がマラソン大会前日から夜遅くまで残ってぜんざいやダンゴ作りを行い、走り終えた生徒たちに振舞いました。生徒たちは、保護者の方々の愛情のこもった温かいぜんざいを、しばし疲れを忘れて笑顔でほおべていました。午後の表彰式では、男女共に一位〜十位の入賞した生徒に賞品、賞状、メダルが送られました。

★団体賞★
1位 2年1組
2位 1年1組
3位 1年3組



PTA手作りのぜんざい



男女優勝者



### ～順位(男子)～

- 1位 西原龍次(2年熱資)
- 2位 宮里充規(1年福祉)
- 3位 西原 瑠(1年福祉)
- 4位 米須方飛(2年熱資)
- 5位 荻堂盛斗(2年造園)
- 6位 名嘉佑太(1年福祉)
- 7位 上原悠弥(1年園芸)
- 8位 山城祐介(2年福祉)
- 9位 識名悠貴(2年熱資)
- 10位 泉 俊輔(1年園芸)

### ～順位(女子)～

- 1位 大城明里(2年熱資)
- 2位 伊禮千穂(2年福祉)
- 3位 平川夢乃(2年福祉)
- 4位 松川奈々(1年熱資)
- 5位 眞砂彩花(2年熱資)
- 6位 伊佐美音(1年熱資)
- 7位 兼本麗里香(2年福祉)
- 8位 吉里真紀(2年食料)
- 9位 比嘉日奈子(2年熱資)
- 10位 古波高佳穂(2年食品)

## ★★★★ 3年前の入学式 ★★★★★



桜の花も咲き、暖かな日ざしの日が多くなってきましたが、生徒の皆さん、保護者の皆様、地域の皆様いかがお過ごしでしょうか。  
さて、中農便り二月号が休刊のため、今月号で三年生に関わる連絡や案内をさせていただきます。三年生は、二月十二日より進学・就職のための準備期間に入り休みとなります。出校日は、二月十九日(火)、二月二十八(木)となっております。また三月一日は、全日制課程第六十五回・定時制課程第五十一回の卒業式が行われ、全定合わせて約二百名の生徒が中農から巣立っていきます。

卒業まで残りわずかか・・・

### 卒業式のご案内

- ★日時★  
平成25年3月1日(木)  
午前10時 開式
- ★日程★  
9:00 受付開始  
9:50 卒業生入場  
10:00 卒業式  
12:00 卒業生退場



### 福祉住環境コーディネーター検定試験 県内最年少合格!

十一月二十五日に、福祉料の生徒十三名が福祉住環境コーディネーター検定試験に挑戦しました。一般の方も多く受験する中、二級に一年生の眞川紗奈さんが県内最年少で合格しました！同じく一年生の井上淳希さんが三級に合格しました。おめでとうございます！

#### 【合格者の声】

今回初めて挑戦した資格で、テキストを見た時、合格できるか不安になりましたが、担当の請盛先生から教えていただき、一緒に受検した敦希さんと互いに励ましあいながら頑張りました。

（福祉料一年 眞川紗奈）

一回目で合格できたので嬉しかったです。夏休みに受けた講習のおかげだったのかなと思います。次回は二級を合格できるように頑張りたいです。

（福祉料一年 井上淳希）

#### 福祉住環境コーディネーターとは？

高齢者や体の不自由な方へ、安全で快適な住環境を提案するアドバイザーで、建築・福祉・医療等、幅広い業界で活躍できる注目資格です。

### セラピー犬認定試験 & 動物介在活動

一月二十七日に熱帯資源科動物介在チームの生徒と犬たちがセラピー犬認定試験に挑戦しました。



セラピー犬とは、人に癒しを与える犬のことです。動物介在チームではセラピードッグスクール沖縄の職員を外部講師として、セラピー犬育成に取り組んでいます。

今回は、十一頭の犬と指導者の生徒十一人が試験を受け、基本的なしつけが身につけているかや指導者と犬との適性等が試され、十組が合格することができました。

動物介在チームは、小中学校や各種イベント等で動物介在活動を行っています。一月二十五日には、桑江中学校に赴き、スライドヤクイズ、犬とのふれあい体験を通して、「命の大切さや癒し」を伝えました。

### 新春餅つき大会

新年を迎えた一月七日、食品科学科では恒例のもちつき大会が行われました。食品科学科全員で、交流会も兼ねながらわきあいあいと餅をつきました。また、「お餅を食べて元気になる」と、「自然に感謝しよう」と、餅つきの由来についても学習しました。ついた餅は、あんなにやきなこみたらしくおいしかったです。



### 第三十七回沖縄県老人福祉作文コンクール (県老連会長賞受賞)

「笑顔の花を咲かせるために」

福祉料 三年 宮里 愛美

「おはあちゃん、大丈夫ですか。」中学校へ登校中、道端でお年寄りが倒れているのを見て、私はあわてて駆け寄りました。私より先に気づいていた高校生や大人は、誰一人立ち止まることありませんでした。「おめね、情けないさ。おはあはもう年だし、足が重くてね。そのまま学校へ行ってしまうよ。」しかしその女性は倒れたままなのです。救急車を呼ぶために通りがかりの人たちを求めましたが、皆知らんぷりをしてくれませんでした。早く行って行きました。すると、そこへ偶然医師が通りかかり、救急車を呼んでくれました。「おめね、おめね。」救急車に乗り込む前にも、その方は申し訳なさそうに言います。私は、当り前のことをしただけで、迷惑だなんて全然思っていないかたに何度も謝られ、なせか悲しい気持ちでいっぱいになりました。「福祉って何だろう。もっと人の役に立つ人間になりたい。」この出来事がきっかけとなって、私は福祉に興味を持つようになった。入学当初、介護や育児疲れ等の暗いニュースを耳聞していた私は、福祉に対して暗いイメージを持っていました。また、障がい者に対しても偏見があり、何もできない人たちだと思いついていました。しかしそれは、介護講習や、特別支援学校での出会いによって、大きく変わっていききました。福祉料では、介護の実践力を身につけるために、老人施設での介護講習があります。実習前は、介護はしんどい、きついという印象があり、不安や緊張を抱えています。しかし、日々進むうちに、積極性も増し、「コミュニケーション」もスムーズにとれるようになりました。脳障害による記憶と言語症があり表情も乏しい方の食事介助をしていた時のことです。学校で習ったことを思い出しながら丁寧に、相手のペースに合わせて介助しました。その時、向かいに座っていたお年寄りに、「この人がこんなに美味しそうに食べている姿は久しぶりに見えたよ。」と言われました。嬉しい反面、介護者に求められているものは何かを改めて考えさせられました。施設に入所していらっしゃるお年寄りの方は、若い頃は多くの苦労や困難を抱えながら仕事や育児をしてきています。そのような人生の先輩に対する、気遣い・「礼儀」・「尊重」こそ、介護になくてはならないものだと思います。

介護講習を終えた後、特別支援学校高等部の生徒と交流を持つことになりました。レクリエーションには障害物競争を決行する予定でしたが、健常者である私たち、肢体不自由のある生徒の方が楽しむのを企画するにあたり、健常者である私たちが、肢体不自由しかし、それは大きな間違いでした。身体が自由に動かなくなると、私よりもずっと熱中して楽しんでる姿を見て、私はいささか恥ずかしい気持ちになりました。しかし、相手の笑顔を見ているだけで、ななそれだけでも嬉しかったし、彼らのことをもっと知りたくなり、笑顔に答えて、そして共に笑いたいと思えました。「私の夢は、これ。この時胸の中に、熱い想いが脈々とあふれてきました。そして自分の目標が見えてきました。」

#### ～2月の行事～

- 1日 全体集会、第3回漢字検定
- 4日 第5回国語申込(～8日)、3年生補習(～8日) 国際洋蘭博覧会見学(園芸・造園1・2年)
- 5日 身なり指導週間、勤怠指導 2年進路別ガイダンス(LHR) 3年ワックスがけ(2～4校時)
- 6日 木の授業
- 7日 3年生送る会
- 8日 福祉科学科集会、特支援連駅伝大会 FFJ沖縄大会生徒実行委員会
- 12日 56校時は水の56校時、第5回追試(～14日) 1・2学年年末テスト(～14日)、返本週間 実習事後学習(分教室)、分教室個人面談(～15日)
- 18日 5校時は月の6校時
- 14日 全体清掃
- 15日 中農市
- 18日 研修旅行(2-2:～21日)、産業視察研修(2-3)
- 19日 進路講話(LHR)
- 20日 2年ワックスがけ(4～6校時)
- 21日 日本情報処理検定(word)
- 22日 1年ワックスがけ(2～4校時) 第6回追試申込(～25日)、日本情報処理検定(excel)
- 24日 第3回英語検定2次試験
- 25日 校外学習(2-5)
- 26日 1校時は金の1校時
- 28日 卒業式式場作成・予行演習、1・2年補習(～3/6) 第1回国語申込(～3/6)

#### ～3月の行事～

- 1日 第6回卒業式
- 4日 身なり指導週間、第6回追試(～5日)
- 6日 全体清掃、勤怠指導
- 7日 一般入試学力検査①
- 8日 一般入試学力検査②、沖縄特別支援学校卒業式
- 13日 第3回校内農業クラブ大会、第1回追試(～14日)
- 15日 中農市
- 18日 23456校時は木の23456校時、訪問介護員養成研修級課程認定証授与式(2-5)
- 21日 金の授業
- 22日 修了式・離任式、全体清掃、食科学科集会

「誰かの役に立ちたい。」この気持ちには、高校へ入学と同時に強くなっています。私はこの福祉料で、相手をおかまに受け入れる「愛意」、身を傾け心の言葉を聴く「傾聴」、同情ではなく寄り添う「共感」の大切さを知りました。そして相手の立場なご考え、行動できるよになりました。正確で善い介護技術を習得するのとても大切ですが、相手の隣寄り添い「悩みや苦しみ」を共有することこそ重要なのではないかと学びました。卒業後は進学して保育士、幼稚園教諭、特別支援学校の教員免許を取り、将来は保育や教育の場で働きたいと考えています。年を重ねると、障がいがある人も、誰かに助けられたとき「おめね。」と申し訳なく思ってしまう。「ありがたう。」と笑顔で頼れる社会を築くのが私の夢です。その実現のために、幼い頃からピアノを取り組み、障がい児と健常者が同じ空間で学び、互いに思いやり、助け合う関係を作れるよう、インクルージョン(統合教育)を実践していきます。一人でも多くの笑顔の花を咲かせるために。